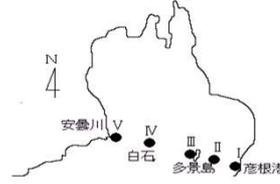


琵琶湖定点定期観測結果速報(令和8年2月)

数値は速報値であり、確定値ではありませんので、ご注意ください。

調査年月日 令和8年2月10日

調査地点 彦根市～高島市安曇川町に至る5地点
(ただし、湖岸水温は彦根市八坂町
滋賀県水産試験場地先における測定値)



調査地点図

調査結果

平均値 …… 5地点の平均値

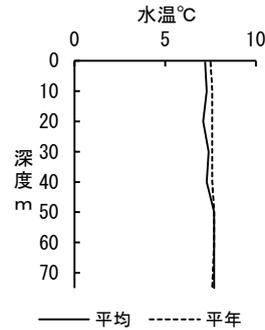
平年値 …… 透明度、湖水温、湖岸水温、プランクトン沈殿量は1991年～2020年(平成3年～令和2年)の同時期調査の平均値

DO(溶存酸素濃度)は2016年～2025年(平成28年～令和7年)の同時期調査の平均値

1. 透明度 2月平均値 6.2m 平年値 6.8m

2. 湖水温 (°C)

深度(m)	2月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0.5	7.2	7.5	-0.3
10	7.3	7.6	-0.3
20	7.1	7.6	-0.5
30	7.4	7.6	-0.2
40	7.3	7.6	-0.3
50	7.7	7.7	+0.0
60	7.7	7.7	+0.0
75	7.7	7.6	+0.1



3. 湖岸水温 (°C)

月(旬)	平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
1月下旬	6.6	7.1	-0.5
2月上旬	7.1	6.8	+0.3
2月中旬	7.7	6.9	+0.8

4. プランクトン沈殿量 (ml/m³)

水層 (m)	2月平均値	平年値	平年差
			(平均値-平年値)
0~10	6.8	4.3	+2.5
10~20	3.6	1.8	+1.8
20~40	3.4	1.6	+1.8
40~75	2.0	1.1	+0.9

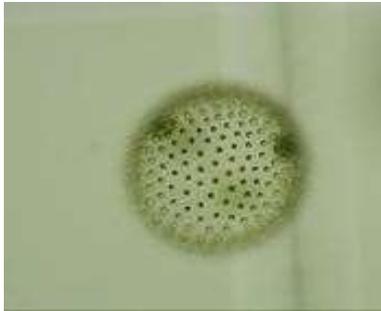
(プランクトンネットNXX14使用)

5. 表層のプランクトン優占種

○プランクトンネットNXX14による採集(5%中性ホルマリン固定。植物プランクトンは地点Iと地点IV、動物プランクトンは全地点)

植物プランクトンについては、両地点で*Volvox aureus*(ボルボックス:緑藻)の細胞数が最も多かった。

動物プランクトンについては、全地点でカイアシ類のノープリウス期幼生の個体数が最も多かった。



Volvox aureus



ノープリウス期幼生

6. DO (溶存酸素濃度 : mg/L) 多項目水質計による測定値。

深度 (m)	2月平均値		平年値		平年差	
	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)	DO	(酸素飽和度%)
0.5	11.1	91.5	11.1	94.0	0.0	(-2.5)
10	11.0	91.4	10.9	92.2	0.1	(-0.8)
20	10.8	90.0	10.7	90.6	0.1	(-0.6)
30	10.9	90.8	10.7	90.5	0.2	(+0.3)
75	10.5	87.7	9.3	78.3	1.2	(+9.4)